

緑のまちあれこれ

- 北国分のまちは外環の小塚山トンネル工事も、北総との交差工事とも関わりなくて、相変わらずしょぼくれたままだ。若い人がいない。まだ堀之内の北総北国分駅に近い地域では乳母車のお母さんたちや幼稚園児や小学生の騒がしい元気な声がすることもありますが、矢切に寄るほど年寄りくさくなって、静かになる。いったい外環はどうなるのか。
- 自民党が末期症状なら民主党もなにか、きな臭くなってきた。普通感覚の人間なら、政党とか政府とか本気になって信頼し、打ち込んでいる人なんていないのではないか。自分たちの生活は自分たちの判断で持続し、自分たちのまちは自分たちの力でつくりあげてゆく以外、おかみや政治にまかせられないというのが、住民の気分なのだ。政治情勢に拘わりなく、いやでも総選挙は迫ってくる。国民主権の判断は、その時の結果で示される。
- 政治情勢が梅雨空のようにうっとうしいこの頃、ネムの花が咲きはじめていた。季節は確実に動いている。

□探鳥会□

日時：平成21年4月29日（祭）

天候：晴

参加者：今井 小沢 小田原 越田 佐々木 鈴木 鈴木 夏目 藤井

松田 松田 松林 松林 三好 村松 村岡 16人

確認された鳥：

カワウ ヒドリガモ キンクロハジロ ハシビロガモ

ツミ キジバト コゲラ ツバメ ヒヨドリ

アカハラ センダイムシクイ シジュウカラ メジロ

シメ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス

ハシブトガラス 計19種

コメント：天気にも恵まれ、小塚山ではアカハラ センダイムシクイ メジロ シジュウカラの囀りが聞かれました。じゅんさい池では、野鳥ではありませんが、アヒルのヒナに皆こころなごむ思いでした。（村岡幸生）

■編集後記■ 8月は北国分外環対策協議会の総会で始まり、いやでも総選挙に明け暮れる暑い1か月になるだろう。森の音楽会の演奏者穴澤さんの写真は、矢切の藤木さんからご提供いただいたものです。有難うございました。



第90号 2009.7.15 発行

編集 北国分外環対策協議会
市川市北国分 2-29-12 越田方
Tel 047-372-8936
www.midorinomachi.net



第39回 北国分外環対策協議会総会

日時 平成21年8月1日（土）午前10時～12時
場所 小塚山研修所 第2会議室（2階）

- 外環の現状と今後の活動について
活動報告と新年度の計画
その他
- 市川の山野草について 谷口浩之さん
 - ・スライド上映とお話し
 - ・外環工事の影響は……

会員の皆さん、お誘いあわせの上、お気軽にお出かけ下さい。
新しい方のご参加、大歓迎です。



第11回公害調停

7月2日、千葉市で開かれ、住民22名が参加しました。住民が苦しめられている小塚山トンネル工事による震動被害については、「現在工夫している最中であり、震動が少なくなるよう検討し努力する」と、国は答えました。

第12回公害調停

9月9日（水）、千葉市で開かれます。

今年の 小塚山 森の音楽会

第16回 森の音楽会 報告

石本 恵理

「森の音楽会」の実行委員にさせていただいてから5年目となりました。今年も天候に恵まれ、約300人の人々が森に集い、とても心地よい環境の中で演奏をきくことができました。

今年も、「ジャズバイオリン」でしたが、事前のスタッフの話し合いでは、「森の中でバイオリンとキーボードだけで音が聞こえるのだろうか」「曲目は、知らない曲が多いが楽しめるのだろうか」と、全く見当がつかないジャンルで、少し不安があるということでした。

実際演奏を聴いてみると、ジャズのスタンダードだけではなく、オリジナルの曲はホッとさせてくれるような落ち着いたメロディもあり、みなさんととてもよい時間を過ごすことができたというお言葉を頂き、今回もご紹介した甲斐がありました。

実は、今回お招きしたバイオリンの奏者穴澤雄介さんは、私の教え子です。小学校の頃はまだ視力がありませんでしたが、目の病気があったので、お母様が目が見えなくなっても何かものになるものを身につけさせたいと、バイオリンを習わせていたのです。

そして今年の2月に私が市内で穴澤さんのチラシをふと見つけ、まだバイオリンを続けていて、しかもそれを仕事にしていることをとても嬉しく思いました。CDも3枚も出しており、聴いてみましたが、素敵な曲ばかりでした。

伴奏者の野田正純さんのピアノもたいへん素晴らしく、いつもいっしょに仕事をしていると見えて、二人の息もぴったり合っていました。

残念なことは、森の真下を外環トンネルが通り、工事の音で小鳥がにげてしまったのか、いつものようにたくさんの鳥が、いっしょに演奏に加わるという姿は少なかったです。かわりにカラスが多くなったような気がしました。森の下の谷津に行ってみると、その景観とは全く不釣り合いのトンネルの入口が見えます。来年はどんな様子になっているのかととても心配が残りました。



アンケートとカンパ有難うございました

北国分外環対策協議会の総会が8月1日に開かれます。外環問題についての地域活動として「緑のまち」発刊、バードウォッチングと並んで、小塚山緑の音楽会を中心に活動してきました。今年の森の音楽会は天候にも恵まれ、300人の参加をいただき、感動裏に終了させていただきました。参加者からのアンケートの一部をご紹介します。

- どの曲もよかったです。特に「あの木に寄りかかって」など、心にしみる曲ばかりでした。(国府台、毎回参加、チラシで)
- 音楽は楽しかったです。途中の話はもう少し短くしたほうがいい。工事が進んでいるのでびっくりした。(北国分、3回以上参加、チラシで)
- とても癒されました。あまり環境破壊がなくよかったです。3年ぶりに来ました。(下矢切、「市川よみうり」で)
- 木漏れ日の中とってもぜいたくな豊かな時をもてました。ありがとうございます。身体がリフレッシュするようなひとときでした。また来たいです。バイオリン、ピアノ、心をゆさぶられました。森を残したいという気持ちは行動力に移すしかないですね。(真間、はじめて、チラシで)
- 今回も楽しい音楽、うれしかったです。ありがとうございました。ここに来て4年、来た時は、毎朝日を拝むのが楽しみ、森林が太陽に包まれ、幸いな毎日でした。今は山も小さく森は林になりました。これも街の発展なら……。私は現在90歳。この山、森林いつまでも。(北国分、3回以上、自治会掲示板で)
- 私はヴァイオリンを聴くのが大好きです。今日は何日も前から楽しみにしていました。「ガクト王国」がとてもよかったです。ヴァイオリンの演奏が心にしみました。私はこの近く(国鉄団地の端)に40年近く住んでいます。この森が近くにあり、いつも心をなごませてくれます。しかし最近外環の工事も始まってきています。このあたりも森が何時までも残っていてももらいたいです。(中国分、毎回参加、「緑のまち」で)
- リベルタンゴにひかれて初めて聴きにきました。アンクルンの心に響くやさしい音色に癒しを感じました。緑の中のリベルタンゴは素晴らしい。想像以上に心が開放され、音楽を楽しめた。(国府台、はじめて参加)



○ 素晴らしい環境のもとでの、またすばらしいバイオリン、ピアノの演奏に一日至福な思いを味あわせていただき有難うございました。いつまでも続くことを祈ります。(国府台、毎回参加、出演者から聞いて)



○ 今回の穴澤さんの感性と森の空間がマッチして心が癒されました。村岡さんから森と鳥の変化があることを聞き、いつまでもこの森の空間を守り、森の音楽会を続けていただきたいと思います。(中国分、3回以上参加、「市川よみうり」で)

○ 緑の中のコンサートというのにひかれて来ました。思った以上に森の中をたのしめて、音楽を楽しめて、幸せな時間をもらえました。じみだけど、ぜったいあきらめず、自然を守る運動をつづけたいと思います。音楽を大事にするために。(鎌ヶ谷から、はじめて、ポスターで)

○ 今年も楽しみにしてまいりました。昨年とは違う音楽を聞かせていただき有難うございました。なかなかホールにコンサートを聴きに行く機会がありませんが、自然の中でぜひいたくなコンサートを愉しませていただきとても幸せです。来年もまた楽しみにしています。偶然この場で知り合いの方との出会いも素敵です。(船橋市、2回目、地域新聞で)

○ たいへん素晴らしい会でした。来年も催してください。工事が大分進捗しているようですが、どのように回復されるのか心配しています。(堀之内、3回以上参加、チラシで)

○ 緑と音楽が素晴らしく、豊かな時間を過ごしました。また野鳥のこと、自動車のこと、日ごろ気づかない話も聞け為になった。市川の緑はすばらしく、よく歩いています。生活の利便性も大事ですが、この自然を大切にしていきたい。(松戸市から、3回以上参加、チラシで)

○ 美しい緑がいっぱいの森の音楽会。はじめて参加して、とても癒されました。素晴らしいバイオリンとピアノの演奏も一段とよかった。人間も森もたいせつにする社会にするためにひとりひとりの声が大切だと思います。今日の音楽会に参加してとてもよかったです。(宮久保から、はじめて、友人にさそわれて参加)

夏の花 キツネノカミソリ

谷口 浩之

不思議な花です。早春、他の花が生える前にヒガンバナに似た葉を球根から出します。その後、花茎だけが出てきます。8月上旬ごろ30~50cm程になった花茎に、3~5個の、形が百合に似た橙色の花をつけます。花が終わった後、実がなり、秋の中ごろ黒いタネができます。



若葉が、この頃あまり見かけない日本剃刀に似ていることと、林の中に突然咲く花を狐火にたとえて名がついたようです。

ヒガンバナ科なのでヒガンバナと似ていますが、花は反り返りません。ヒガンバナは、逆に花の後に葉を出します。いずれも鱗茎に毒があり食べられません。

明るい林の中や林の縁に見られます。わが「緑のまち」では、道免き谷津から中国分5丁目方面に上がる坂道の斜面に小さな群落を見せています。以前は道から写せたのですが、10年程前に、金網のフェンスができてしまい、写真が撮りにくくなってしまいました。谷津は風通しがいいので、息を止めてシャッターを切ります。

堀之内貝塚の林には、広範囲にわたって見られます。この場合「蚊取り線香」を持参したほうがいいでしょう。時折、頭上に居るカラスにも注意が必要です。

歌の玉手箱

稲見 由美

湖のほりにあるキャンプサイト。その突端まで登り、合図で一斉に懐中電灯を消すと、足元も隣の友達の顔も見えなくなります。暗い！ 怖い！ けれども悪の代名詞としての「闇」は、人が作り出すもの。五感がかすかな葉擦れの音や小さな生き物の気配を捉え、天の星明りに気が付く頃には、闇は何かしら親しげなものへと変わっていました。音と光が溢れる都市の夜とは異なり、そこここに豊かな生命が潜む闇は静かで雄弁で不思議な世界でした。キャンプファイヤーで焼いたマシュマロの甘さと共に蘇る遠い夏の一ページです。

今年もまた夏。子供達の心には、どんな宝物がしまいこまれることでしょうか。

♪ 星影さやかに 静かにふけぬ

集いの喜び 歌うは うれし

「星影さやかに」 作詞者不詳

外環道路反対運動の歩み

1966 (昭和 41) 3.19 外環道路計画が初めて新聞紙上に発表される。東京都練馬区・杉並区議会など反対決議。

6. 1 衆議院建設委員会で瀬戸山建設大臣は「現在の都市計画法は大正 8 年制定のものゆえ、計画決定の際は住民参加のできるよう改正する」と言明。

7.29 衆議院建設委員会で、瀬戸山建設大臣が計画決定の認可を言明。戦時立法の「許可認可等臨時措置法」を適用し、埼玉県境～東名高速間約 18km を告示。

1968 (昭和 43) 3.30 保利建設大臣、衆議院予算委員会で「外環計画は無理」の意向を示唆。

1969 (昭和 44) 1.13 美濃部都知事が外環反対の陳情に「今後住民福祉に反する道路はつぐらな。外環は再検討したい。私自身はやりたくない」と語る。

4. 4 千葉県都市計画地方審議会が外環計画を決定。

1970 (昭和 45) 10. 9 参議院建設委員会で根元建設大臣は「新しい構想を活かして大多数の住民の納得を得られるプロジェクトを指示してあり、この条件が整うまで外環東京都部分はしばらく凍結する」旨の発言をする。

1971 (昭和 46) 6.25 松戸市内で測量はじまる。市川市住民、外環計画の実態を知り、市議会に外環計画の凍結・再検討の請願。市議会は採択、同主旨の決議をする。

7. 1 松戸市議会が凍結・再検討の請願採択。

7.13 千葉県議会が凍結・再検討の請願採択。

12. 5 市川・松戸外環道路対策協議会連合が発足

1972 (昭和 47) 6.10 建設省広報誌 5 月号に西村建設大臣は外環について「自分ももっと外を通すべきだと事務局に指示している」と述べる。

10. 5 市川市議会が外環連合の計画反対の請願を採択し、決議。

1973 (昭和 48) 3. 7 衆議院建設委員会で金丸建設大臣が「地元の自治体や住民が反対するならやめるべきだと思う」と発言。

5.21 建設省、国道 298 号 (葛飾区～市川区間) の工事開始を告示。

11. 9 千葉県議会が外環反対の請願を満場一致で採択。



1975 (昭和 50) 7. 8 市川市議会が外環道路建設反対特別委員会を設置。

7.19 市議会外環反対特別委員会、市川市外環問題審議会、外環連合の三者による「市川市外環反対協議会」発足。

1980 (昭和 55) 8.26 日経新聞「建設省、外環道早ければ昭和 85 年、遅くとも 70 年に完成の方針と報道。

1986 (昭和 61) 1. 21 国幹審、東北道 (川口～練馬間) 1.5km を整備計画、81 年度からの着工を決定。

4.22 木部建設大臣、日本道路公団に外環三郷～練馬区間越道区間の施工命令を出す。

1987 (昭和 62) 10 月 建設省、市川～松戸の半地下計画変更案示す。

1991 (平成 3) 11.17 市川で外環連合 20 周年住民集会。

1992 (平成 4) 4.12 小塚山で第 1 回森の音楽会開催。オカリナ。

4.28 「緑のまち」創刊号発行。(隔月発行)

11.27 外環埼玉ルート (三郷～和光間 26.7km) 供用開始。

1993 (平成 5) 2.18 外環市川ルート計画受入れを市川市議会特別委員会が可決。

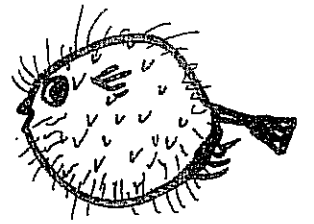
4.11 北国分を歩く。参加者 11 名。

1995 (平成 7) 6.2 市との外環地元説明会。第 2 回は 7 月 28 日。

1997 (平成 9) 11.24 第 1 回バードウォッチング

2001 (平成 13) 9.30 市川で外環反対 30 周年市民集会。

2003 (平成 15) 1.10 扇国土交通大臣、外環都内区間約 16km について大深度地下利用法を適用し、地下 40m 以上の地下トンネル方式で建設することで東京都と合意、と発表。



バードウォッチングに参加して

鈴木秀子

北国分に引っ越してきて 11 年、小塚山の森、堀之内の林など、自然がとても豊かで散歩をするのが楽しみです。バードウォッチングに参加させていただいたお陰で鳥の名前も覚えて、また楽しさが増しています。

4 月の探鳥会は「鳥の声を聞く会」だと村岡さんがおっしゃった通り、なかなか鳥は姿を見せてくれませんでした。初夏のはしりの声のまだ見たことがない「センダイムシクイ」やアカハラ、コゲラ、メジロなど、私でも知っている鳥のさえずりを聞くことができました。鳥の声を聞き分けるのはまだまだできませんでしたが、天気にも恵まれ、新緑の森で、時にはキンランやギンランに目を奪われた探鳥会でした。